

物語

主人公は30歳の郵便配達員。愛猫キャベツとふたりぐらし。
母を病気で亡くしてから、実家の父とは疎遠になってしましました。
恋人はいません。別れてしまった彼女のことを、まだ想い続けています。
趣味は映画鑑賞。友だちは映画マニアの親友が一人だけ。
そんな彼が、ある日突然、余命わずかの宣告を受けてしまいます。
脳に悪性の腫瘍ができていたのです。
ショックで呆然とする彼の前に、どつぜん、自分と同じ姿をした悪魔が現れて
言いました。
「世界から何かひとつ、ものを消すことで、1日の命をあげよう」…。
悪魔のささやきに乗せられた主人公は、次々とものを消していきます。
電話、映画、時計、そして、猫。
ところが、何かを消すと、大切な人たちとの思い出も一緒に消えてしまうことになり…。
これは余命わずかの彼に起こった、せつなくもやさしい「愛」の物語です。

出演

佐藤 健 宮崎あおい

濱田 岳 奥野瑛太 石井杏奈 奥田瑛二 原田美枝子

監督

永井 聰

1970年生まれ。CM監督として、サントリーBOSS「ゼロの頂点」、カロリーメイト「とどけ、熱量。」、サントリー「グリーンダカラちゃん」など数々の話題作を手掛け、2012年からACC CM FESTIVALディレクター賞を2年連続受賞。現役CM監督としてはトップに上り詰める。ポスト・中島哲也、吉田大八として注目される新鋭。『ジャッジ!』(14)で長編映画監督デビュー。



原作

川村元氣

1979年生まれ。映画プロデューサーとして『電車男』『デトロイト・メタル・シティ』『告白』『悪人』『モテキ』『おおかみこどもの雨と雪』などを製作。2010年製作の『告白』『悪人』は日本アカデミー賞を分け合い、海外映画祭でも多数受賞した。同年に、米Hollywood Reporter誌の『Next Generation Asia2010』にプロデューサーとして選出され、2011年に優れた映画製作者に贈られる「藤本賞」を史上最年少で受賞。初の小説となる本作で2013年本屋大賞にノミネートされ、同作は100万部を突破。中国、韓国、台湾でもベストセラーとなった。



はこだてフィルムコミッション事務局

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号

(事務局:函館市観光部コンベンション推進課)

www.hakodate-fc.com

Tel 0138-21-3326



2016年5月14日(土)より全国公開

©2016映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

函館口ケ地マップ